

議案審議

まちの未来像「光・緑・人 輝くとよかわ」

第6次総合計画基本構想の策定

原案可決

第6次総合計画は、平成28年度から10年間の新たなまちづくりの指針となるもので、少子高齢化と人口減少への的確な対応を強く意識し、多くの人に「住みたい」、「訪れたい」と思ってもらえるようなまちづくりのため、「定住促進」や「交流促進」に寄与する施策を明確にした計画となっています。

次の4項目をまちづくりの基本方針として設定し、あらゆる行政分野のまちづくりを総合的に進めます。

- ①「定住・交流施策を進めます」
- ②「シティセールスを進めます」
- ③「市民協働を進めます」
- ④「行政経営改革を進めます」

反対!!

コンパクトシティが進めば、駅周辺や中心部以外の地域では人口が大幅に減り、商業施設やさまざまなサービスが成り立たなくなり、地域で住み続けることができない可能性が高くなる。財政健全化として起債を抑制しているが、子育て支援や地域経済を活性化する施策を推進すべきである。また、公共施設適正配置での小坂井地区のリーディング事業は地域住民の総意で決める必要があると考えるが、大多数の住民の意見を聞いていないため、反対する。

主な討論

第6次総合計画
基本構想の策定

賛成!!

まちづくり中学生会議、まちづくり市民ヒアリング、団体アンケートなどでさまざまな意見が取り入れられ、市民参画による総合計画となっている。合併前から整っている各地域の生活基盤を生かし、駅周辺の拠点とその周辺地域を公共交通などで結ぶことで利便性を維持しようとするコンパクトシティの推進は重要である。また、公共施設適正配置の推進では、地元とのヒアリングやワークショップなどにより意見を聞く姿勢を継続しており、賛成する。

賛成



反対



①リーディング事業
他の事業に先駆けて行う事業。

平成 27 年 12 月定例会

12月定例会は、11月27日から12月17日までの21日間を会期として開かれました。27年度一般会計補正予算を始めとした18議案のほか、同意 1 件、報告 1 件、諮問 1 件が提出されました。

● 一般会計補正予算 ●

原案可決

○選挙人名簿システム等改修業務委託料(151万2,000円追加)

選挙権年齢が18歳以上になることによるシステム改修を行うもの

○更生医療費(3,466万8,000円追加)

人工透析患者増加に伴うもの

○福祉医療費(4,929万4,000円追加)

後期高齢者及び子ども医療費の増加に伴うもの

○生活保護扶助費(2億2,089万9,000円追加)

生活保護対象者の増加に伴うもの

○住宅管理費(4,670万円追加)

市営住宅退去時の修繕及び赤代住宅復旧工事を行うもの

○学校環境対策事業費(2,800万円追加)

普通教室へのエアコン設置の基本設計を行うもの

● 条例の一部改正 ●

原案可決

○部設置条例及び支所設置条例の一部改正

健康福祉部を福祉部と子ども健康部に分割し、また、一宮総合支所の地域振興課と生活窓口課を廃止し、名称を一宮支所にするもの

○市税条例等の一部改正

市税制度の適正化を図るため、徴収猶予及び換価の猶予を受けるための分割納付等の方法や申請手続等、また、担保を徴する必要がある場合等について必要な事項を定めるもの

○児童館条例の一部改正

建て替え工事が長期間になることから一旦廃止していたあかさか児童館の工事が本年度内に完了し、28年度から供用開始するため、項目にあかさか児童館を追加するもの

※会派別賛否の状況については、5ページの議決状況の一覧でご確認ください。

28年1月1日から 個人番号の利用開始

原案可決

○個人番号の利用及び特定個人情報 情報の提供に関する条例の制定

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づき、市の責務、庁内で連携する事務の範囲、及び、他の機関への特定個人情報の提供、規則への委任に関する規定を定めるもの



・ 公の施設に係る指定管理者の指定 ・

原案可決

所 管	施 設 名	現指定管理者	次期指定管理者	指定期間 (満了日)	指定 種別
健康福祉部	豊川市東部地域福祉センター	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	平成31年 3月31日	任意
	豊川市西部地域福祉センター				
	豊川市社会福祉会館	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	社会福祉法人 豊川市社会福祉協議会	平成33年 3月31日	任意
市民部	豊川市コミュニティセンター 国府市民館 始め 市民館等30施設	国府小学校区コミュニティ推進委員会 始め 30団体	国府小学校区コミュニティ推進委員会 始め 30団体	平成33年 3月31日	任意
産業部	豊川市御油の松並木資料館	御油の松並木資料館運営委員会	御油の松並木資料館運営委員会	平成33年 3月31日	任意
	豊川市諏訪第1公共駐車場	豊川市開発ビル株式会社	豊川市開発ビル株式会社	平成33年 3月31日	任意
	豊川市諏訪第2公共駐車場				
建設部	赤代児童遊園 始め 児童遊園及びちびっ子広場95施設	赤代児童遊園運営委員会 始め 95団体	赤代児童遊園運営委員会 始め 95団体	平成33年 3月31日	任意
	豊川市催事場	豊川市開発ビル株式会社	豊川市開発ビル株式会社	平成33年 3月31日	任意
教育委員会	豊川市野外センター	一般社団法人 設楽町公共施設管理協会	一般社団法人 設楽町公共施設管理協会	平成33年 3月31日	任意

● 病院事業会計補正予算 ●

原案可決

○投資のための予算を新たに計上（10億円）

26年度の地方公営企業会計制度の改正に伴い、予算計上を義務づけられた退職給付引当金の原資の一部を20年の長期間の債券運用による資金管理を行うもの

反対!!

今回の補正予算は、退職給付引当金で地方債などを購入し、公金の運用を図るものである。国の財政赤字は国債の増発により深刻である。国債は税金の先取り消費であり、元利金の支払いが増える。国民生活関連予算が削られるという悪循環を招きかねない。国債の購入は国債発行の後押しになり、地方債購入も他自治体の借金体質の後押しになる。また、期間が20年と長期であり、リスクも懸念されることから反対する。

主な討論

27年度病院事業会計
補正予算

賛成!!

病院事業は、会計制度の変更により退職給付引当金の計上が義務化され、昨年度末時点で約26億円が計上されている。これを原資として投資有価証券による運用をするもので、病院建設に伴う経常収支のマイナスが見込まれる中、収支黒字化に向けての経営努力の一環であると認識している。また、購入する債券は元本保証のあることを条件とし、投資リスクを十分考慮され、地方公営企業法の基本原則に基づいており、賛成する。

賛成

反対

議決状況の一覧

■12月定例会 ○賛成・×反対 未来一とよかわ未来(23) 公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(2)
無会派一1人会派(2) ※ () 内は所属人数

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況				議 決 結 果
	未 来	公 明	共 産	無会派	
75 27年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	可決
76 27年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
77 27年度病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	可決
78 部設置条例及び豊川市支所設置条例の一部改正	○	○	×	○	可決
79 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	可決
80 市税条例等の一部改正	○	○	○	○	可決
81 児童館条例の一部改正	○	○	○	○	可決
82 特定環境保全公共下水道事業分担金に関する条例の一部改正	○	○	○	○	可決
83 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	○	○	○	○	可決
84 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	○	○	×	○	可決
85 健康福祉部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
86 市民部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
87 産業部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
88 建設部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
89 野外センターに係る指定管理者の指定	○	○	○	○	可決
90 市道路線の廃止	○	○	○	○	可決
91 市道路線の認定	○	○	○	○	可決
92 第6次総合計画基本構想の策定	○	○	×	○	可決
同意11 公平委員会の委員の選任につき同意を求めること	○	○	○	○	同意
報告15 損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	-	-	-	-	報告
諮問3 人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	異議ない

報告15については、報告のみで採決はありません。